

# 泌尿器科専門医に聞く

泌尿器科部長

いしうら よしゆき  
石浦 嘉之



## 尿失禁や頻尿でお悩みの方へ



当院が新規治療開発に携わった難治性過活動膀胱に対する「ボツリヌス療法」が保険適応となりました。

突然尿意をもよおしトイレまで急がないと漏れそうになってしまう、急におしっこがしたくなって我慢が出来ず何度もトイレに行ってしまう、といったことで困っていませんか？過活動膀胱によるものです。過活動膀胱は外出や旅行などの余暇に打ち込めなくなり生活の質を悪化させます。

既存の経口薬や経皮薬によって多くの方は軽快するものの、改善しない場合もあります。当院の調査では、過活動膀胱症例に対して1年間で438名の方に投薬加療を行い、薬物療法無効症例は2割程度でした。また口渇や便秘などといった副作用の問題があり長期の服用が困難な場合もあります。このような方に対しボツリヌス療法が期待できます。

ボツリヌス療法とは、ボツリヌス菌が作る天然のたんぱく質（A型ボツリヌス毒素）から精製された薬を膀胱壁内に直接注射し、膀胱の異常な収縮を抑える治療法です。「ボトックス膀胱壁内注入術」ともいいます。ボツリヌス菌を注射するわけではないのでボツリヌス菌に感染する心配はありません。効果は通常治療3日後くらいであらわれ、4～11ヶ月にわたって持続します。効果が無くなれば改めて治療を行うことにより再度効果が得られます。局所麻酔を行ったうえで、膀胱壁内に注射を行う治療です。注射自体は3分程度で終了します。手術室を利用し外来通院で行っております。口渇や便秘などといった副作用がないのも本治療の大きな利点です。

これまでの診療実績が評価され、2016年に当院がボツリヌス療法の国内臨床試験担当施設として選ばれました。全国では50施設に限られ、県内では当院のみです。これまでに20回以上にわたり本治療を行い安全かつ良好な成績が得られております。県内他施設からも紹介頂き治療を行っております。臨床試験全国調査の結果、本治療の有益性が確認できましたので、この4月から保険診療として厚生労働省より認可され、一般診療としての治療が可能となりました。過活動膀胱で投薬治療を行うにもかかわらずお困りの方はぜひ受診してください。

発行：独立行政法人労働者健康安全機構富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページにも掲載しています。

【連絡先】0765(22)1280(病院代表)

E-mail: [chiki2@toyamah.johas.go.jp](mailto:chiki2@toyamah.johas.go.jp)